

| | | | | | |
|--|----|---|------|-----|---|
| 支 援 の 提 供 | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 80% | 20% | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 80% | 20% | |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか | 100% | 0% | 2021年度6月より集団療育開始、まだまだ課題はあります。組み合わせはする予定はありませんが、発達段階に合わせたクラス設定に力を入れていきます。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 70% | 30% | 2022年度よりサービス時間の変更を行い、より療育前後の打ち合わせの時間を作っていきます。 |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 80% | 20% | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 100% | 0% | |
| | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | 70% | 30% | 下記項目にもある連携が課題。毎月の面談による利用児童の把握はできている部分があるが、関係機関との関わりが不足している為、その連携も含めた計画の見直しをしていきたいと考えています。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | 0% | サービス担当者会議の開催がほとんどなく照会のみで終えるケース多く評価難しい。基本は児童発達管理責任者が参加が望ましいと考えている。 |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 100% | 0% | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 30% | 70% | 医療的ケア児童の受け入れはしていません。 |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 30% | 70% | 医療的ケア児童の受け入れはしていません。 |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 70% | 30% | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 70% | 30% | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 30% | 70% | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 30% | 70% | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 30% | 70% | 2021年度研修多くありましたが、必要な情報共有や回覧のみな部分もありましたので再度情報共有の時間を作っていきます。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 100% | 0% | |